

「アスリートイメージ評価調査」
2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会™特別編を実施
～「活躍した日本代表選手」は、本田圭佑、川島永嗣、長友佑都。
日本代表の試合には、「感動した」、「頑張った／一生懸命」、「予想外／期待以上」～

株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)は、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、調査対象アスリートに加え、ワールドカップ出場アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会™特別編を行いました。

イメージ総合ランキング上位は、1 位にイチロー(野球)、2 位に浅田真央(フィギュアスケート)、3 位に石川遼(ゴルフ)、4 位に本田圭佑(サッカー)、5 位に宮里藍(ゴルフ)となっており、実力と人気を兼ね備えたアスリートが上位を占めています。(敬称略、以下同)

イメージ項目の「好感がもてる」アスリートは、1 位に川島永嗣(サッカー)、2 位にイチロー(野球)、3 位に浅田真央(フィギュアスケート)、4 位に長友佑都(サッカー)、5 位に川口能活(サッカー)が上位にランキングされています。また、「リーダーシップがある」アスリートは、1 位に岡田武史(サッカー)、2 位にイチロー(野球)、3 位に川口能活(サッカー)、4 位に長谷部誠(サッカー)、5 位に中澤佑二(サッカー)となっており、『2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会™』での活躍を受けて、サッカー日本代表監督および選手が数多く上位を占める結果となりました。

そして今回は、調査対象アスリートに加え、『2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会™』に出場した選手、日本代表の試合の印象に関する質問も行いました。

「活躍した日本人選手」のランキングは、1 位に本田圭佑、2 位に川島永嗣、3 位に長友佑都、4 位に田中マルクス闘莉王、5 位に松井大輔となっており、「4 年後に活躍すると思う選手」は、1 位に本田圭佑、2 位に川島永嗣、3 位に長友佑都、4 位に森本貴幸、5 位に松井大輔となっています。

また、今回の日本代表の試合の印象は、1 位に「感動した」、2 位に「頑張った／一生懸命だった」、3 位に「予想外／期待以上の活躍」という結果となっています。

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズグループが独自に構築した 29 項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。

博報堂DYメディアパートナーズグループでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1)イメージ総合ランキング上位は、「イチロー」「浅田真央」「石川遼」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位: 石川 遼(ゴルフ)
- 4位: 本田 圭佑(サッカー)
- 5位: 宮里 藍(ゴルフ)
- 6位: クリスティアーノ・ロナウド(サッカー)
- 7位: 松井 秀喜(野球)
- 8位: リオネル・メッシ(サッカー)
- 9位: ダルビッシュ 有(野球)
- 10位: カカ(サッカー)

2)“好感がもてる”アスリートは、「川島永嗣」「イチロー」「浅田真央」

- 1位: 川島 永嗣(サッカー)
- 2位: イチロー(野球)
- 3位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 4位: 長友 佑都(サッカー)
- 5位: 川口 能活(サッカー)

3)“リーダーシップがある”アスリートは、「岡田武史」「イチロー」「川口能活」

- 1位: 岡田 武史(サッカー)
- 2位: イチロー(野球)
- 3位: 川口 能活(サッカー)
- 4位: 長谷部 誠(サッカー)
- 5位: 中澤 佑二(サッカー)

4)“『2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会™』で活躍した日本人”アスリートは、「本田圭佑」「川島永嗣」「長友佑都」

- 1位: 本田 圭佑
- 2位: 川島 永嗣
- 3位: 長友 佑都
- 4位: 田中 マルクス闘莉王
- 5位: 松井 大輔

5) “4年後のワールドカップで活躍すると思われる日本人”アスリートは、

「本田圭佑」「川島永嗣」「長友佑都」

- 1位: 本田 圭佑
- 2位: 川島 永嗣
- 3位: 長友 佑都
- 4位: 森本 貴幸
- 5位: 松井 大輔

6) “日本代表の試合の印象”は、「感動」、「一生懸命」、「予想外／期待以上」

- 1位: 感動した
- 2位: 頑張った／一生懸命だった／根性がある
- 3位: 予想外／期待以上の活躍だった
- 4位: すばらしかった／よかった／よくやった／健闘した
- 5位: 面白かった／楽しかった

■調査概要

・調査方法: Web 調査

・調査地区: 首都圏＋京阪神圏

(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)

・調査対象者: 対象エリアに在住の15～69歳の男女

・有効回収サンプル数: 600 サンプル

・調査期間: 2010年7月8日～7月12日

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYスポーツマーケティング

管理部 (広報担当)

酒井・木村

03-6441-7990

事業戦略部

橋村

03-6441-7993

アスリート事業部

上野

03-6441-7992